

伊豆地域公共交通計画の令和5年度末時点における評価（案）

赤字：協議会での意見を踏まえて修正

|                            | 指標   | 調査方法  | 達成状況・分析                | 評価  | 備考  |
|----------------------------|--|-------|------------------------|---|---|
| 数<br>値<br>指<br>標           | 公共交通（鉄道、路線バス、デマンド型交通、タクシー）の利用者数<br>→ 34,690 千人/年以上 | 協議会調査 | 29,765 千人/年<br>→目標未達   | 新型コロナの影響は小さくなったが、利用者数が未だに回復していない。               | ・ JR 東日本は令和4年度の利用者数<br>・ バスの令和5年度利用者数は暫定値   |
|                            | 公共交通人口カバー率<br>→ 80%以上                              | 協議会調査 | 国勢調査（2025年）等を踏まえて算出    | —   |   |
|                            | 新たな地域交通の導入件数<br>→ 3 案件以上                           | 協議会調査 | 3 案件（R5）<br>→目標達成      | 成果が得られた。自動運転の実装に向けた検討を引き続き進める。                  | 自動運転の実証実験<br>県主導：沼津市、松崎町、市主導：三島市  |
|                            | 観光交流客数<br>→ 43,859 千人以上                            | 協議会調査 | 36,931 千人（R4）<br>→目標未達 | 新型コロナの影響が小さくなったが、観光需要が未だに回復していない。               |   |
|                            | 旅行客の利用交通手段のうち公共交通の占める割合<br>→ 35%以上                 | 協議会調査 | 28.7%（R4）<br>→目標未達     | 新型コロナの影響が小さくなったが、公共交通での観光需要が未だに回復していない。         |   |
| 進<br>捗<br>管<br>理<br>指<br>標 | 運転手等の確保に関する取組の数<br>→ 13 案件以上                       | 協議会調査 | 3 案件（R5）<br>→目標未達      | 目標に達していない。「物流の2024年問題」が注目されており、更なる取組を推進する必要がある。 | ・ 中部運輸局及び県バス協会が主催するバス運転体験会（R5. 11. 27）<br>・ 富士急グループによるバス運転体験会（R5. 10～R6. 1 に 4 回開催）<br>・ 千鳥観光汽船・伊豆箱根バス合同開催の試乗体験会（R6. 1. 28） |
|                            | 地域住民の利用促進に関する取組の数<br>→ 13 案件以上                     | 協議会調査 | 0 案件（R5）<br>→目標未達      | 目標に達していない。今年度、県全域において小学生向け無料乗車イベントを開催予定。        |   |